

平成24年度一般会計と特別会計 当初予算決まる 一般会計は93億3180万円ですター

3月7日、9日に議員全員で構成する予算特別委員会（柏崎利信委員長）を開会し、平成24年度おいらせ町の一般会計及び9件の特別会計の審査を行いました。

予算特別委員会において、議員と町当局と活発な質疑・応答が行われた結果、9日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。



予算特別委員会の
議事を行う
柏崎利信委員長

平成24年度 各会計の当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度予算額	差引増減	
一般会計	93億3180万円	91億9780万円	1億3400万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	28億3446万円	27億2114万円	1億1333万円
	奨学資金貸付事業特別会計	1851万円	1880万円	▲29万円
	公共下水道事業特別会計	10億345万円	9億9415万円	931万円
	農業集落排水事業特別会計	1億1266万円	1億908万円	358万円
	介護保険特別会計	18億4494万円	17億8840万円	5655万円
	霊園事業特別会計	817万円	1328万円	▲511万円
	公共用地取得事業特別会計	4003万円	9560万円	▲5556万円
	後期高齢者医療特別会計	1億4077万円	1億3298万円	779万円
	(公営企業会計)病院事業会計	10億488万円	10億3040万円	▲2552万円
	計	70億787万円	69億381万円	1億406万円
総計	163億3967万円	161億161万円	2億3806万円	

※ 病院事業会計の不足分は損益勘定留保資金で補てん。

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

平成24年度の主な事業内容

・ 公共施設整備基金積立金	1億0万円	・ 県営農道保全対策事業負担金	1755万円
・ 交通安全施設整備工事	420万円	・ 農村環境改善センター屋根塗装工事	1800万円
・ 町民バス運行業務委託料	2382万円	・ 商工会プレミアム商品券発行補助金	2200万円
・ 障害者（児）福祉各種給付費	3億3278万円	・ 町道維持補修工事	5400万円
・ 後期高齢者医療療養給付費	1億5562万円	・ 町道整備工事	2億2900万円
・ 乳幼児医療給付費	2807万円	・ 除雪作業委託	2000万円
・ 保育所運営費	8億5371万円	・ 公園管理費	8498万円
・ 子ども手当等	4億2960万円	・ 被災者住宅再建支援事業補助金	3511万円
・ ひとり親家庭等医療給付費	1790万円	・ 八戸広域事務組合消防費負担金	2億8810万円
・ 乳幼児等予防接種委託料	4959万円	・ 消防ポンプ自動車購入費	2314万円
・ 妊婦乳児健康診査委託料	2178万円	・ 生活・経済活動復興支援助成金	6000万円
・ 健康診査委託料	2443万円	・ 要保護及び準要保護児童生徒援助費	2188万円
・ 十和田広域事務組合ごみ処理費	1億1727万円	・ 木ノ下小学校第2体育館建設工事	4億1000万円
・ 浄化槽設置整備費補助金	2285万円	・ 木ノ下小学校屋外教育環境整備工事	3700万円
・ 雇用対策事業費	9773万円	・ 町債償還元金	10億8281万円
・ 本村地区農道整備調査委託料	594万円	・ 町債償還利子	1億9629万円

一般質問



高坂 隆雄 議員

交差点改良と歩道整備について

【質問①】 県道8号線と、町道木ノ下・二川目線との交差点

は、従来鋭角のY字路交差点に、近年の住宅建設に伴って道路が新設され、変則な4差路交差点へと変化してきました。同8号線は三沢方面に向かい右にカーブして見通しが悪いのが現状です。

町道木ノ下・二川目線は、平成19年度に舗装工事が全線完了し、今後の交通量も増加するものと考えられます。この際、平成25年度建設着工予定の、町消防団下田第五分団の建設計画を、現在の場所より移動して交差点を緩やかな

丁字路へ改良し、信号機の設置を進めるべきと考えますが、如何ですか。

【町長答弁】 当該交差点は、Y字路の変則交差点となっており見通しが悪く、特に木ノ下小学校や木ノ下中学校に通学する児童・生徒にとって交通安全上危険な箇所だと認識しています。仮に町消防団第五分団を平成25年度の建てかえを機に移設すれば、交差点を緩やかに改良することにより現状よりは見通しが良くなるものと思えますが、それでもなお用地が狭いため、抜本的な交通安全対策を講じた事にならないと考えております。

信号機設置については、昨年度所轄の三沢警察署へ要望しましたが、現在及び改良後の道路形状や交通量などから極めて難しいとの回答を頂いております。

今後、直角交差できる交差点改良などの可能性を検討していきます。

【質問②】 気比神社から五分団屯所までの歩道内に消火栓があり、歩行者に支障をきたしているが、これを改善する考えがあるかを問います。

【町長答弁】 近隣の民地の協力

など適切な場所が確保できれば、新年度において移設する方向で進めてまいりたいと考えております。



歩行に障害な消火栓（木ノ下地区）

【質問③】 前記交差点から南方に歩道がなく、この沿道に町民バスのバス停があり、歩行者は交通量の激しい同8号線を歩行しているのが実態でありますので、町として歩道整備の必要性と、併せて、県道ですから県に対して歩道の整備を働きかける意志をお持ちかどうか問います。

【町長答弁】 当該路線は、これまでも県単独道路管理事業に歩道整備及び見通しをよくするための道路改良を要望している路線であり、今後も引き続き県に対して要望してまいります。



望まれる歩道整備（JA木ノ下店前）

広報紙等の文書配布について

【質問】 町行政推進委員等規則

の中で、「町の広報紙・選挙公報・その他連絡文書等の配布に関すること。」と有り、町が把握している「実世帯数」は平成23年11月に9千4百79、配布数は7千7百18、その差1千7百61は配布されていない事になります。世帯数×数人とすれば、多数の人に町の広報紙等が届いていない事になります。

この対策について、お聞かせ願いたいと思います。

【町長答弁】 町の広報等の配布については、行政推進委員や行政連絡員を通じて行って

り、町内会未加入世帯へも配布して頂いているものと理解しております。しかし、全ての未加入世帯に配布されているかというところではないと見ていて、そうした未配布世帯解消のため、公民館など公共施設において提供するほか、ホームページにも掲載するという対応をしております。

【再質問】 行政推進委員には報酬が支払われていて、世帯数×千円ですから、平成22年度決算額では9百32万6千円、平成23年度の当初予算では9百37万2千円、平成24年度予算では7百77万5千円計上されております。

住民税等を納税しても、町内会未加入だけで、町からの情報源の一部が断たれている事について、もう一度ご見解を賜りたいと思います。

【企画課長】 新年度に向けては、商業施設とか地元の商店とかにも配置を考えていきたいと考えております。

ただ、町の非常勤特別職としてお願いしております行政推進委員でありますので、その職務にありますとおり、全世帯に配布して頂きたいという思いはあります。

一般質問



日野口 和子 議員

町中間地点への 新庁舎建設について

【質問】 合併後の、そして3・

11東日本大震災、大津波の後の混乱した状況を打破するためにも、新しいおいらせ町を築いていくという大きな理念のもとに、町の中間地点に新庁舎を建設する考えはないのか。

現在の分庁舎の耐震工事に数億円もの多額な金額を投入するのであれば、新庁舎建設に向けて軸足を一歩かえて踏み出すことが必要ではないのでしょうか。現在の分庁舎を多面的広場あるいは駐車ス

ペースとすれば、駐車スペースの狭い東公民館、公園、商業地にも近いので、買物もゆっくりできるなど、町民にとっても大きな利便性が加味され、商業地の活性化にもつながると思います。そして万が一にも火災等の災害があった場合にも多面的広場とした方が延焼を食い止めることに貢献できるのではないのでしょうか。

町長、悪く言えば独裁的に良く言えば創造的に、守るだけではなく攻めの町づくりを、勇気を持って進めていただきたいが町長の考えをお伺いします。

【答弁】 行政執行の立場としては、当町の人口規模や面積を

考えれば、庁舎は一カ所で事務を取り扱うことが効率性及び機能性の面でメリットが多いと考えておりますが、一方、利用する町民の立場としては、現在の身近な場所にある庁舎で行政サービスを受けられる分庁舎方式のメリットもあるものと認識している。議会の特別委員会等において庁舎機能の方向性について広く議論をして、最善の方法を検討し

ていきたいと思っています。ただ、今言えることは、分庁舎は耐震強度が不足しているということですので、できるだけ早く、一時的であれ、あの場所は避けたいと思っており努力しておりますので時間をいただきたいと思います。

ドーム型屋内運動場の 建設について

【質問】 マニフェストにもありましたドーム型屋内運動場の建設はいつの段階で行うのか。

【答弁】 県内のドーム型屋内

運動場8施設を視察し、現状と課題について調査済みであり、人件費を除く維持管理費が、施設によって毎年1千500万円から2千100万円となっており、類似施設の建設費とランニングコスト、運営主体、規模、利用方法等について調査検討課題が多く関係団体とも連携し、財政状況をみながら調査、研究を進めたので時間をいただきたい。

気比神社の東側・西側の 歩道整備について

【質問】 東側は県道でもあり、

当町には、県会議員もおられますので、じっくりと話し合っって県の方へも強かに推し進めていただきたいと思います。103億6千万円もの整備費がかかることを説明していただき承知しておりますが、子供たちの、地域住民の生命、財産を守るという観点からも一日も早い整備が必要と思っております。

また西側は、木ノ下中学校までの歩道整備を進めていただきたい。木ノ下児童館から村杉商店までは緩いカーブと坂道になっており、その危険性はかなりのもので、交通事故も年々多発してきており、歩道の真ん中に消火栓が立っており歩ける状態ではありません。町長の考えをお伺いします。

【答弁】 県単独道路管理事業に歩道整備及び見通しをよくするための道路改良を要望して

いる路線であり、今後も引き続き要望してまいります。木ノ下中学校までの歩道整備については、平成23年度の生活関連道整備の概算事業費は103億6千万円と膨大であり、すべての要望に應えるには相応の期間と財源確保が必要のため、「生活関連道整備基本計画」を策定し、整備に支障のない路線から、限られた予算の範囲の中で地域住民の協力を得ながら、今後とも計画的に進めてまいりたいと考えております。



歩道整備の要望が大きい県道
(気比神社東側)